

943 不完全体 / 上 / 代数集合体 / 所謂  
*zugeordnete Form* 及び 函数体,  
*tangent space* = ツイテ / 一注意

中山 正 (限大)

代数幾何 / 基礎ハ *Van der Waerden* = ヲツテ  
 完全 = 代数化サレマシタガ、ソレヲノ論文 *ZAG* 及び 一昨年知  
 カ出タ彼ノ本其ノ他ヲ見マシテモ標数ガ  $p$  ノ時、特ニ不完  
 全 (*unvollkommen*) 体ノ場合ハヨク吟味ハレテ居ラ  
 ズ、ソノ点何トナク氣ニナル点ガアリマシタノデ、ソレヲ  
 一才吟味シテ見マシタ。ソノ細イ点ノ吟味ナド興味ヲ持  
 タレルオモシイカト思ヒマスガ、實ハ昨年一才代数幾何ニツ  
 イテ連続シマベル機會ヲ持チマシタ折、ソノ息マハリ氣ニシ  
 ナガヲ立入レズ、モシ吟味ガ旨ク行ッテラ「紙数」ニデモ書  
 クト言ッテシマツタノデ、ソノ口約ヲハタシタイト思ヒマ  
 ス。

$M$ ヲ体  $K$ ノ上ノ  $n$ 次元射影空間ノ中ノ  $d$ 次元ノ既約  
 代数集合体トシ、 $\xi = (\xi_0, \xi_1, \dots, \xi_n)$ ヲソノ  
 (*normalized*) 一般点トシ、マタ  $F(u_0, u_1, \dots, u_n)$   
 ヲソノ所謂 *zugeordnete Form* トスル (定義ハ下ヲ  
 参照)。

$F(u)$ ヲ  $u$ ノミノ型式ト見テ、コレヲ一様式ニ分解  
 スレバ、標数ガ  $0$ ノ場合ニハ  $v$ レヲノ一様式ハスマテ奥ツ  
 ヲ問題ハナイノデスガ、標数ガ  $p$ ノ時ニハ一般ニソツテ

ナク、異ナル一二次式ノ積ノ何カ  $p^e$  乗ニナル。地方  $M$  ノ函  
 数体  $K(\xi_0, \xi_1, \dots, \xi_n)$  ハ  $K$  = 対シテ  $d$  次元デスガ、  
 適当 = 独立ナ  $\xi_{i_1}, \dots, \xi_{i_d}$  フトツテ

$$(1) K(\xi_0, \xi_1, \dots, \xi_n) / K(\xi_{i_1}, \dots, \xi_{i_d})$$

ナル代数拡大ヲ考ヘテモ必ずシモコレガ *separable* = 出  
 来ナイ 因シコトヲ言葉ヲ変ヘレバ

(2)  $K(\xi_0, \dots, \xi_n)$  ノ中ノ  $K$  = 対シテ代数的ナ最  
 大ノ部分体ハ  $K$  = 対シテ *separable* トハカギラヌ。更  
 ニマタ  $M$  ノ一般点ヲ必ずシモ *tangent space* が存  
 在シナイ。(コレハ  $M$  ノ單純点ヲトイフテモヨイ)

コレヲノ事ヲ吟味シタイノデスガ、結論 ハ上記  $p^e$   
 ナル指数ハ丁度 (2) ナル体ノ  $K$  = 對スル *inseparability*  
exp. (スベテノ元ヲソレガ々乗ズレバ  $K$  = 對シテ  
*separable* = ナルヤウナ最小ノ指数) = 等シイ。少シ  
 言ヒカヘレバ、 $p^e = 1$  = ナルノハ (1) ナル拡大ガ適当ナ  
 $i_1, i_2, \dots, i_d$  フトレバ *separable* = 出来ルト  
キ、且ツソノ時デアアル。而シテコレハマタ一般点 = *tangent*  
*space* ガアル時、且ツソノ時 = カギル。

大体想像出来ルコトデスガ、証明シヨウトスルト一寸  
 面倒ナリデス。ナホ  $p^e$  ガ (2) ノ *insep. exp.* デアツテ  
*insep. degree* デナイコト、従ツテ特 = 0 次元

( $d=0$ ) ノ場合ヲ考ヘテ見テモ  $F$  ノ次数ハ必ずシモ函  
 数体ノ次数 = ヒトシクナイコトハ、或ヒハ普通ノ如ク  $F$  ノ  
次数ヲモツテ直チ =  $M$  ノ次数ト定義スルコト = 或ル疑念ヲ

佳例シメルノデハナイカト思フ。(シカシ以下デハ言葉ニハコ  
ガハラナイ事ニシヨウ)。

又上記ニヨリ  $F$  /  $\exp. p^e$  が birational in-  
variant ガアル事モワカッタケデアアル。

ナホ、興味ノアルノハ不完全 (unvollkommen) +  
基礎体ノ場合ノミデス。シカレ、代数幾何デハ勿論基礎体  
カヲ超越拡大ヲ行ッテソレヲ基礎体ニスルコトガシバシバ  
アリ、従ッテ最初ノ基礎体が完全デモ、不完全基礎体ヲ考ヘ  
ル事が度々アルワケデス。

念ノタメ、基本的ノ定義ヲ一ニ:  $M$ ノ点  $x$  トソレ  
ヲトホル  $d+1$  個ノ超平面  $u, u', \dots, u^d$  トヲ對應サセル  
代数對應ヲ考ヘル。コレノ像集合体, スナハチカユル  
 $d+1$  個ノ超平面ノトス集合体ハ  $d+1$  重射影空間内ノ  
既約超曲面ヲナシ、従ッテ一ツノ有次關係

$$(3) F(u, u', \dots, u^d) = 0$$

ヲ定義サレル。

コノ型式  $F(u, u', \dots, u^d)$  ヲ  $M$  "zugeordnete  
Form" トヨブ。ソレハ各  $u^i = u_i$  テ同ジ次数  $g$   $g \in$   
 $4$ 、ソレヲ  $M$ ノ次数トヨブ (上記注意参照)。而シテ  $u$  ガ  
ケノ型式ト見テ  $K(u, u', \dots, u^d)$  ノアル擴大体  
ニオイテ

$$(4) F(u, u', \dots, u^d) = p \prod_{i=1}^h (p_0 u_0 + p_1 u_1 + \dots + p_n u_n)^g,$$

$$p \neq 0, \quad hg = g \quad (g = p^e)$$

ト分解ナレル。長個、 $\rho$ ハMトd個ノ独立ト一般超平面トノ交ハリノ相異ルニシテ、全体デアアル。(qハ体  $K(u_1, \dots, u_d, \rho)$ ,  $K(u_1, \dots, u_d)$  = 対スル inseparability exp. ナル事ハ明カデアアル。)

次ニ  $H: H(x) = 0$  ガアル超曲面ナルトキ、

$$\sum_i X_i \partial_i H(y) = 0$$

ハ  $y = 0$  ケル  $H$  ノ polar デアル。Hヲスベテノ超曲面ノ  $y = 0$  ケル polars ノ交ハリナル線型空間ガ丁度  $d$  次元ナルトキ、ソレヲ  $H$  ノ  $y = 0$  ケル tangent トヲブ。

$d = n - m$  個ノ独立ト一般超平面ノ交ハリヲ一般ナル  $m$  次元線型空間トヲブ。ソノ Plücker 座標  $(\pi_i, i_2, \dots, i_d)$  ハヨク知ラレタ Plücker 座標ノミタス関係式ヲ定義ナレタ代数集合体ノ一般点ヲナス。逆ニコノ代数集合体ノ一般点ハアル一般  $m$  次元線型空間ノ Plücker 座標デアアル。

コノ明カナ注意ヲ直接及ビ双對的ニツカヘバ  $S_m$  ト  $S_t$  トガ独立ト  $m$  次元、 $t$  次元一般線型空間デアアリ且ツ  $m+t+1 \leq n$  ナラバ  $S_m, S_t$  デ張ラレタ空間ハ ( $m+t+1$  次元) 一般線型空間デアアル。(コレモ殆ンド自明ノコトデアアルガ、タゞ「一般ト」トイフ様ナ言葉デゴツカサズ、マハリ証明シナケレバナラナイ事柄デアラウ)

モウ一ツ一般超平面ニツイテノ注意ハ、ソレガ独立ト一般超平面  $u_1, \dots, u_d$  ノ交ハリナラバ、体  $K(u_1, \dots, u_d)$  ハソノ Plücker 座標ノ体  $K(\pi_i, \dots, \pi_d)$

純超越拡大 + ルコトヲアル. ソレハストハバ

$$\begin{array}{cccc} i & & i & & d-1 & & d-1 \\ u_0, & \dots, & u_{d-1}, & \dots, & u_0, & \dots, & u_{d-1}, \\ & & & & d & & d \\ & & & & u_0, & \dots, & u_{d-2} \end{array}$$

+ ル  $d^2 - 1$  個ノ元ガ  $K(\pi) =$  對シテ独立デ、ソレニヨツテ  
 造リ出ガスベテ表ハサレル事ガ Plücker 座標ノ定義ノ式  
 ガヲ容易ニ証明サレルノデアアル。

コノ事カラ (4) ノ 各個ノ点  $p_1, \dots, p_k$  ハ  $K(\pi) =$   
 對シテ代数的 (互ニ共軛) デガ、ソレガ  $K(\pi) =$  對シテ  
separable ナルヌメニハ  $K(u_1, \dots, u_d) =$  對シテソウ  
 デアルコトガ (必要且ツ) 充分デアアル。

サテ、前述ノ如ク基礎体  $K$  ガ不完全ノ時、ミガ興味ノ  
 中心デアアル。何トナラバ容易ニワカル如ク (例ハバ ZAG.  
 XIV, §1 ノ Hilfssatz)  $K$  ガ完全ナルトキニハ端々  
適當ニ  $i_1, i_2, \dots, i_d$  ヲエラベバ (1) ガ separable  
ニナル様ニ出來ル。

コレガケテ準備トシテ

補題 1.  $M$  ガソノ一般点ヲテ tangent space  
ヲモツヌメニハ (1) ガ適當ニ  $i_1, i_2, \dots, i_d =$  ヲツテ  
separable ニナルコトガ必要且ツ充分デアアル。

充分ノコトハ象知 (例ハバ ZAG. XIV, §1, Satz 1).  
 必要ナルコトヲイフヌメニハ、 $K$  ノ上ノ最小ノ完全体  $K^*$  ヲ  
 考ヘ、ソコヲモツテ行ツテ、ソコニ上ノ注意カラ  $j_1, \dots$   
 $\dots, j_d$  ヲトツテ  $K^*(\xi_{i_j})$  ガ  $K^*(\xi_{j_1}, \dots, \xi_{j_d}) =$  對

シテ  $\text{sep.}$  ナル如クシテ、シカシテ  $K^* = \text{オケル代数関係}$   
 ヲ何乗カシテ (指数ハ  $p$  ノ中)  $K = \text{モドツテ考ヘル}$ 、ソノ  
 時ソノ  $p$  ノ中ガスベテ / デ + イ + ラ  $M$  ヲアコム超平面ノ  
 $\xi = \text{オケル polars}$  ノ交リガルケモ  $d+1$  次元ナルコトガ窺  
 易ニシカレ。

補題 2.  $M$  ガソノ一般点ガ  $\text{tangent space } T$   
ヲ有ツナラバ、ソノ  $\text{zugeordnete Form}$  ハ  $\xi$  ノ異ル  
一次式ノ積ニナル (即チ  $g = 1$  デアル。ソレニハ  $\xi$  フトホ  
 ル  $d$  個ノ最ニ一般ナ超平面  $\xi_1, \dots, \xi_d$  ヲ考ヘルト、コレハ  
基礎体  $K = \text{閉シテハ全ク独立ナ } d$  個ノ超平面トナル。ヨッ  
 テソレト  $M$  ノ交リハ既約ナ  $0$  次元集合体、下ナハチ互ニ共軌  
 ナ点ノ集リニナリ、ソノーツガ我々ノ  $\xi$  デアル。サテ  $T$  ト  
 $\xi_1, \dots, \xi_d$  トノ交リハ ( $0$  次元)  $\xi$  ノミデアル。ヨツテ  
 $\xi$  ガソノ  $0$  次元集合体ノ  $\xi = \text{オケル tangent space}$  ニナル。  
 シカラハ前補題 1 ラコノ  $0$  次元集合体ニ適用スレバ  $\xi$   
 ガ  $K(\xi_1, \dots, \xi_d) = \text{對シテ separable}$ 。ヨツテ  
 $g = 1$  デアル。

次ニ証明ノ中心ナル補題 3.

$M$  ノ  $\text{zugeordnete Form}$  ノ  $g = 1$  ナラバ  $M$  ノ一  
般点ニ  $\text{tangent space}$  ガ存在スル。

先ツ Case i)  $d = n-1$ 、即チ  $M$  ガ超曲面ノ時。  
 コノ場合ニハ下ガ直接ニ容易ニワカルカラ、ソレカラ直接証  
 明サレル。

Case ii)  $d < n-1$ 。コノ時ハ i) ノ場合ニ結局  $re-$

duce スルコトニナリ idea ハ大体 Van der Waerden  
 ノ本ノ174頁ノ所ト大体同ジデアルガ、separability  
 ヲ吟味シツ、違ムノデ、少シ複雑ニナリ、ソコニ出テ来ト  
 イ色々ノ補助、超平面トドモツテ来トケレバナラナイ。トモ  
 カク  $\hat{u}, \dots, \hat{u}_d$  ヲ独立ト一般超平面、ソノ交ハリヲ  $S_{n-d}$   
 トスル。 $S_{n-d}$ ト  $M$ ノ交点ヲ  $p^1, \dots, p^g$ トスル。仮定ニヨリ  $g$ ガ  $M$ ノ  
 次数デアリ、 $p^i$ ハ  $K(u) = \text{対シテ}$  (從ツテ前ニ注意シタ如ク) マダ  $S_{n-d}$ ノ  
 Plücker 座標ノ体  $K(\pi) = \text{対シテ separable}$  デアル。

他ニ獨立トニツノ超平面  $\hat{w}, \hat{w}'$ ヲ考ヘ、ソレト  $S_{n-d}$ ノ交リヲ  
 $S_{n-d-2}$ トオク。マダ見ニ他ニ獨立ト  $n-1$ 個ノ超平面  $\hat{v}, \dots, \hat{v}'$ ヲ考  
 ヘ、ソノ交リ(即チ一般直線)ヲレトスル。

$M$ ヲ  $S_{n-d-2}$ カヲ project スルト  $n-1$ 次元ノ  
 coneヲ得ル(コレハ体  $K(\hat{u}, \dots, \hat{u}_d, \hat{w}, \hat{w}')$ ニオケ  
 ル集合体デアル)

$L$ ト  $S_{n-d-2}$ ヲ張ラレタ線型空間  $R_{n-d}$ ハ前ニ注  
 意シタ如ク一般  $n-d$ 次元線型空間デアアル。ヨツテソレ  
 ト  $M$ トハ  $g$ 個ノコトナル点  $\hat{v}, \dots, \hat{v}^g$ ヲ交ハリ、ソレハ  
 $R_{n-d}$ ノ Plücker 座標ノ体  $K(\pi')$ ニ對シテ separable  
 デアル。各  $\hat{v}^i$ ト  $S_{n-d-2}$ ヲ張ラレタ線型空間ト  
 $L$ トハアルー点  $\hat{v}^i$ ヲ交ハル。  $g$ 個ノ点  $\hat{v}^i$ ハ  $H$ ト  $L$ ノ交  
 ハリニ他ナラヌ。  $L$ ハ  $K(u, w) = \text{對シテ}$  一般直線デアアル  
 カラ、コレハ  $H$ ノ被約次数ガ  $g$ ナルコトヲ示ス。シカルニ  
 $\hat{v}^i$ ガ  $K(\pi')$  ( $\subset K(u, w, v)$ )ニ對シテ separable  
 ガカラ  $\hat{v}^i$ ガ  $K(u, w, v) = \text{對シテ}$  ソレデアアル。ヨツテ  $H$

ノ次数自身  $g$  デアル。

ヨツテ  $H = \text{トクニ}$  Case i) ノ適用ニ且ツ象知ノ所論ヲスレバ、 $\forall$   $\dot{p}$  simple point  $\Rightarrow$   $\text{tangent space}$  が存在スル。

然ル  $\dot{p} \in H$  simple pts デアル。タトヘバ  $\dot{p}$  ノトリ、 $S_{n-d}$  ノ中  $\dot{p}$  ノ通ル一般ノ直線ヲ  $l$  トスル。  $l \cap S_{n-d-2}$  が  $S_{n-d}$  ノ張ルカラ。  $l \cap H$  ト  $g$  個ノ点ヲ交ル。シカ  $l = \text{上}$  = 証明シタマウ =  $H$  ノ次数が  $g$  故カラ。コレヲノ交リハ simple デアル。特ニ  $\dot{p}$  が  $H$  ノ simple pt デアル。

ヨツテ  $H \cap \dot{p} = \text{オイテ tangent space } T$  ノ存ツ。  $l \cap H$  ノ交リ  $\dot{p}$  が simple 故カラ  $l \cap T = \text{フクマレ}$ 。故ニ  $T \cap S_{n-d}$  ノ交リハ  $\dot{p}$  ト  $S_{n-d-2}$  デハラレタ  $n-d-1$  次元線型空間デアル。之ヲ  $S_{n-d-1}$  デ表ハサウ。

サテ主張 = 反シテ  $M$  ノ  $\text{フクム}$  ( $K = \text{於ケル}$ ) 超曲面、 $\dot{p} = \text{於ケル polars}$  ノ交リが  $d$  次元ヨリ高ケレバ、 $\forall$   $l \cap S_{n-d}$  ノ交リ  $I$ 、 $d$  次元  $\text{フクム}$  / デアル。  $r \geq 1$  コノ交リノ空間  $I$  ハ体  $K(u) = \text{アリ}$ 。シカ  $\text{フクム}$   $T = \text{フクマレル}$ 。何トナラバ  $T \cap M$  ノ  $\text{フクム}$  超曲面  $H$  ノ  $\dot{p} = \text{オケル tangent}$  故カラデアル。然ル  $T \cap S_{n-d}$  ノ交リハ上記ノ  $\dot{p} \cap S_{n-d-2}$  デハラレタ  $S_{n-d-1}$  デアル。ヨツテ  $I$  ハ  $S_{n-d-1} = \text{フクマレル}$ 。シカ  $S_{n-d-2} \cap S_{n-d} = \text{オケル一般 } n-d-2$  次元線型空間デアル。(基礎体  $K(u) = \text{関シテ}$ )。ヨツテ  $S_{n-d-1} \cap I$  ノ交リハ、タシカ  $r$  ヨリヒクイ次元  $\text{フクム}$



$\mathbb{Y}$ . コレハ矛盾デアル。故  $= M$  ハ  $p$  デ *tangent* 7モ $\mathbb{Y}$ .  
 $\mathbb{Y}$  デ補題ガ証明サレタ。

最後  $=$ ,  $K(\xi_0, \dots, \xi_n)$  中ノ最大ノ代数体 ( $K =$   
 對シテ) / *inseparability exp.*  $q$  ハ  $K^{q^{-1}}(\xi_0, \dots,$   
 $\dots, \xi_n) / K^{q^{-1}}(\xi_{i_1}, \dots, \xi_{i_d})$  ガ適當  $= i_1, \dots, i_d$   
 7エラベバ *separable*  $=$  ナル最小ナル指數  $d =$  等シイ。  
 コトハ容易  $=$  証明サレル。

コレヲ組合セテ我々ノ主張ガ得ラレル。